

昭和56年8月洪水の洪水流（三角波）

昭和56年8月洪水で発生した洪水流（三角波発生）



山鼻川合流点付近

市街地の中を流れる豊平川は、ひとたび洪水になると暴れ川に姿を変えます。

普段は公園として使われている高水敷よりも水位が上がると、「三角波」と呼ばれる恐竜の背中のような波を伴う速く激しい流れが発生します。

このような流れが起こると河岸や堤防等の施設が壊れてしまうこともあります。このため一般的には堤防は土のみで作られますが、豊平川では堤防にもコンクリートブロックを敷くなどの施設の強化対策を行っています。

写真は、昭和56年8月下旬の洪水の際に、市街地の豊平川で発生した「三角波」です。